

## 三重県内経済情勢 (平成 21 年 9 月の指標から)

県内経済は、厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる（生産は持ち直しつつある。個人消費は弱い動きの中にも、持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いている）。

### 1. 概況

#### (生産)

鉱工業生産指数は前月と同水準となり【図 1】、鉱工業製品在庫指数は 2 か月ぶりに低下した。

#### (消費)

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を 1 年 2 か月連続で下回った。【図 2】コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県）は 4 か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部 8 県）は 2 か月連続で前年同月比増となった。

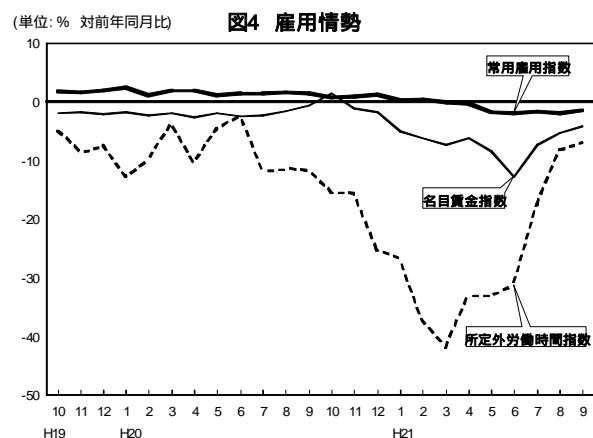
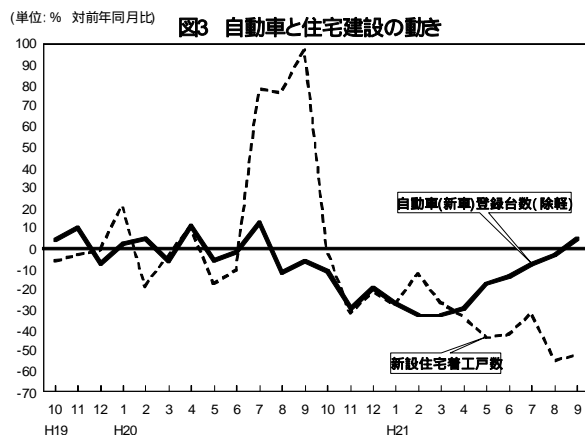
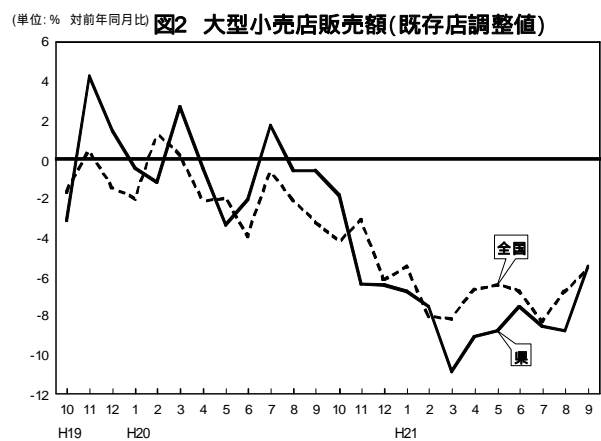
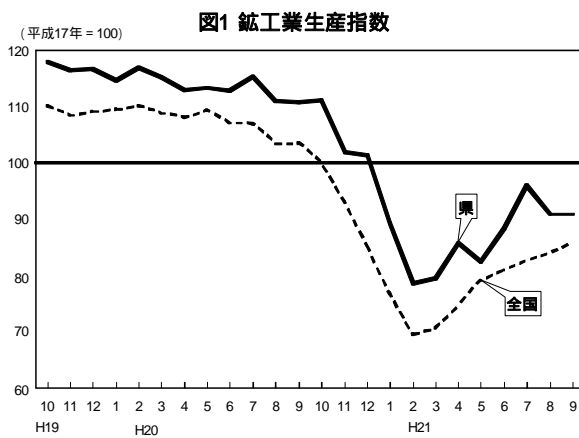
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 1 年 2 か月ぶりに前年同月比増となったが【図 3】、軽自動車販売台数は 11 か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は 12 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

#### (雇用)

有効求人倍率は 0.42 倍となり、前月を 0.01 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 2 年 2 か月連続で前年同月比減、常用雇用指数は 7 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 11 か月連続で前年同月比減となった。【図 4】



## 2. 主要経済指標の動き

### (1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は91.0となり、前月と同水準になった。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（108.8）が前月比3.4%増と2か月ぶりに上昇した。輸送機械工業（83.6）は前月比0.2%減と2か月連続で低下し、化学工業（80.9）も前月比2.4%減と3か月ぶりに低下した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は101.7で、前月比1.5%減と2か月ぶりに低下した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

（前月比：%、H17=100）	6月	7月	8月	9月
鉱工業生産指数	7.0	8.7	-5.2	0.0
（電気機械工業：旧分類）	12.1	3.7	-6.2	3.4
（輸送機械工業）	11.4	9.6	-16.2	-0.2
（化学工業）	-6.3	2.4	4.1	-2.4
鉱工業生産指数（全国）	2.3	2.1	1.6	2.1
鉱工業製品在庫指数	-4.7	-4.9	2.6	-1.5

### (2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比5.5%減と1年2か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は4か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は2か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比4.7%増と1年2か月ぶりに増加したが、軽自動車販売台数は前年同月比7.1%減と11か月連続で減少した。全自動車では前年同月比0.2%増と1年2か月ぶりに増加した。

（前年同月比：%）	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額（県内既存店）	-7.6	-8.6	-8.8	-5.5
〃（全国既存店）	-6.8	-8.4	-6.8	-5.6
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	-3.0	-6.2	-4.3	-3.1
家電販売額（8県全店）	-1.6	-4.9	3.5	2.7
自動車（新車）登録台数（県内）	-13.7	-7.7	-3.6	4.7
〃（全国）	-13.5	-4.2	2.3	3.5
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-12.9	-2.1	-8.6	-7.1
〃（全国）	-16.2	-7.2	-5.1	-5.9
自動車・軽自動車 合計（県内）	-13.4	-5.7	-5.7	0.2
〃（全国）	-14.5	-5.2	-0.5	0.2

### (3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は817戸となり、前年同月比52.1%減と12か月連続で減少した。

（前年同月比：%）	6月	7月	8月	9月
新設住宅着工戸数	-42.3	-31.9	-55.0	-52.1
（参考）（持家）	-21.3	-6.6	-28.1	-28.5
（貸家）	-57.8	-48.1	-75.4	-66.3
（分譲住宅）	-19.1	-28.8	-36.8	-69.3

#### (4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・公共機関からの建設工事受注工事額は213億8千1百万円となり、前年同月比27.5%増と6か月ぶりに増加した。
- ・「国の機関」からの受注工事額は113億5千7百万円となり前年同月比308.2%増と4か月ぶりに増加したが、「地方の機関」からの受注工事額は100億2千4百万円となり前年同月比28.4%減と6か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	6月	7月	8月	9月
受注工事総数（県内）	-46.8	-52.2	-28.7	27.5
国の機関	-41.4	-61.1	-41.5	308.2
地方の機関	-48.6	-43.1	-22.5	-28.4
受注工事総数（全国）	-4.0	-3.9	0.2	26.7

#### (5) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は0.42倍となり、前月を0.01ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は前年同月比7.2%減となり、2年2か月連続で低下した。
- ・常用雇用指数は前年同月比1.5%減となり、7か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は前年同月比4.3%減となり、11か月連続で低下した。
- ・完全失業率（全国値）は5.3%となり、前月より0.2ポイント低下した。

(前年同月比：%)	6月	7月	8月	9月
有効求人倍率（三重県、倍）	0.39	0.39	0.41	0.42
"（全国、倍）	0.43	0.42	0.42	0.43
所定外労働時間指数	-31.4	-17.7	-8.3	-7.2
常用雇用指数	-2.0	-1.7	-2.1	-1.5
名目賃金指数	-12.8	-7.4	-5.4	-4.3
完全失業率（全国）	5.4	5.7	5.5	5.3
(参考)完全失業率(三重県:推計値)	4.2(4~6月期)			

#### (6) 企業倒産

- ・企業倒産は17件発生した。負債総額は39億2千4百万円（前年同月比100.3%増）と2か月連続で前年同月比増となった。

(%：前年同月比)	6月	7月	8月	9月
企業倒産件数（件）	17	8	11	17
負債総額（%）	-7.7	-35.5	26.6	100.3

#### (7) 消費者物価

- ・消費者物価指数（H17=100）は101.6で、前月比は0.1%上昇、前年同月比では1.9%下落した。

(前月比・前年同月比：%)	6月	7月	8月	9月
消費者物価指数（4市平均）	-0.2	-0.7	0.6	0.1
"	-1.3	-2.4	-1.7	-1.9
"（全国）	-0.2	-0.3	0.3	0.0

### 3. 景気動向指数（CI 指数）

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 57.2 となり、前月と比較して 5.9 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、上方への局面変化を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 4 か月連続で上回り 85.7%となった。

（ 前月差：ポイント）	6月	7月	8月	9月
CI一致指数	4.5	4.4	-1.3	5.9
3か月後方移動平均	3.0	3.0	2.6	3.0
7か月後方移動平均	-2.8	-0.9	0.6	2.2
DI一致指数（%）	71.4	71.4	64.3	85.7

- 先行指数（9 時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 88.9 となり、前月と比較して 2.3 ポイント下降した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 3 か月ぶりに下回り 41.7%となった。

（ 前月差：ポイント）	6月	7月	8月	9月
CI先行指数	1.7	10.8	-4.1	-2.3
3か月後方移動平均	4.2	6.1	2.8	1.5
7か月後方移動平均	0.5	1.2	1.8	2.0
DI先行指数（%）	33.3	66.7	50.0	41.7

